

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和元年度第3回美里町在宅医療介護連携推進会議

2 開催日時 令和2年2月3日(月)午後6時30分から午後7時40分まで

3 開催場所 美里町健康福祉センター 2階研修室

4 会議に出席した者

(1) 委員

横山眞和委員、玉手英一委員、大蔵暢委員、佐々木義夫委員、永澤もとえ委員
木村泰之委員、尾形文克委員、伊藤恵委員、武田輝也委員

(欠席：野田清一委員)

(2) 事務局

渡辺克也、伊藤博人、相原浩子

(3) その他

涌谷町福祉課包括支援班 佐々木敦、中野目裕美、早坂宏美

5 議題及び会議の公開・非公開の別

議事

遠田郡在宅医療・介護連携推進事業従事者研修会について

遠田郡医師会・涌谷町との連携について

マップの作成について

報告

大崎市の在宅医療・介護連携推進事業の取組について

美里町の介護予防事業について

会議の公開・非公開の別

公開

6 非公開の理由

7 傍聴人の人数

0人

8 会議資料
別紙のとおり

9 会議の概要
署名委員 尾形文克委員、永澤もとえ委員

(2) 議事

横山委員長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>(1) 遠田郡在宅医療・介護連携推進事業従事者研修会について、事務局から説明願います。</p>
相原課長補佐	<p>長寿支援課、地域包括支援センターの相原です。よろしくお願いいたします。</p> <p>私からは従事者研修会について説明させていただきます。資料1を御覧下さい。従事者研修会について内容等が決まりましたので御報告させていただきたいと思っております。今年度につきましては、できるだけ従事者の方と病院等にお勤めされております先生方が交流を図れることを一番に考え、遠田郡医師会の臨時総会の場をお借りして先生方もし易く、我々従事者についても出席しやすい環境を考え、このように組立てしました。日程につきましては令和2年3月13日(金)の午後7時から8時までということで行いたいと思っております。</p> <p>テーマにつきましては在宅医療・介護連携推進の今後の方向性、在宅医療と自治体の役割ということで、講師につきましてはこちらに記載のあります三原岳様をお願いをする予定となっております。</p> <p>今回の講師は宮城県に調整をお願いしておりまして、本日出席いただいております武田さんに調整をお願いしているところです。武田さんより講師について概略等の説明をお願いします。</p>
武田技術主査	<p>今回、研修会を行うにあたって、本庁の医療政策課と協議し、特に宮城県とかこの地域の地域医療構想の状況ですとか、在宅医療、地域包括ケアに精通しているということで三原さんを推薦いただいた流れがあります。</p> <p>三原さんを簡単に御紹介しますと、ニッセイ基礎研究所と生命保険系のシンクタンクなのですが、元々は時事通信社で記者をされておりました。その時に在宅医療とか包括ケアなどを取材され、その後、東京財団というシンクタンクで在宅医療の分野で御活躍されています。国でも話題になっておりますが地域医療構想の中で医師会の在り方であるとか、在宅医療・介護サービスがどのように動いていくべきなの</p>

	かというところを研究されているというところで、今回、遠田郡についても過去に地域包括ケアについて取材をされたことがあるというところで今後、在宅医療等がどのように進んでいくべきかということ情報を提供いただければと考えておりました。
相原課長補佐	<p>ありがとうございました。できれば先生方とも交流を図れるようにということを考えておりました。何人出席されるかわからないのですが、研修会終わった後に先生方はいつも懇親会を開いているということでしたので、そちらにも従事者の方が参加できるように申し込みをとる方向で、本日、通知を発送いたしました。</p> <p>遠田郡医師会につきましては、先日、涌谷町の事務局と一緒に鎌田会長にも説明に行きまして、2月の理事会でこのようにしていくことを説明してきたいと考えております。</p> <p>従事者研修会については以上になります。</p>
横山委員長	参加者に関しては今のところ確定したものは、まだないのですね。
相原課長補佐	本日、通知したばかりですのでこれからになります。
横山委員長	概ね60人くらいの見込ということでよろしいか。
相原課長補佐	最大でそれ位かなと見込んでおります。会場につきましては事務局で確認に行きまして椅子をどの程度並べられるかなど計算した上での人数ですので、この人数を超えない限りは問題ないかと思えます。
大蔵委員	たくさん申込があった場合はどうする考えですか。
相原課長補佐	一応、調整をしようかとは思っているのですが、それ位来ていただけるといいのかなとは思っています。町内の事業所を対象とすることで今回は申込を受ける形で通知をしております。
大蔵委員	講演する三原さんはよく知っているのですが先生ではなく研究者であり、ずっと在宅や地域医療をテーマに研究しており行政に関する話が結構多いのかなと思えます。内容は興味深いかと思えます。
横山委員長	町内というと涌谷町と美里町ということですね。
相原課長補佐	そうです。涌谷町の介護と医療の従事者と美里町の従事者です。
横山委員長	大人数が収容できる部屋は準備できないですね。
相原課長補佐	1階の総会で使われる場所が一番大きな部屋となります。今回、そこを医師会で借りているということでしたので、テーブルは置かず医師会の総会参加者以外は椅子だけを並べて対応したいと考えております。
横山委員長	他に何かございませんか。
相原課長補佐	本日、委員さん方の机の上に研修会の御案内文書を置いておりましたので、後で確認いただきまして、よければ御出席いただけるとあり

	<p>がたいです。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
玉手委員	<p>会費はかかるのですか。</p>
相原課長補佐	<p>会費は懇親会に出席される方が5,000円で研修だけに参加される方は無料です。</p>
横山委員長	<p>他に何かございますか。</p> <p>無いようですので2番目の遠田郡医師会・涌谷町との連携について、事務局から説明をお願いします。</p>
伊藤課長補佐	<p>長寿支援課、伊藤です。よろしく願いいたします。私からは遠田郡医師会・涌谷町との連携について御説明申し上げます。資料2を御覧ください。</p> <p>項目の1番目、前回の会議において9月までの調整経緯について御説明しましたが、それ以降の遠田郡医師会及び涌谷町との調整についてまとめたものです。</p> <p>10月初旬に遠田郡医師会に対し在宅医療介護連携推進事業の取組について御説明しました。その際に先ほど事務局より説明いたしました従事者研修会に関する企画の提案を行い、医師会からも了承されたところです。</p> <p>11月5日には涌谷町と事業の組織体制について打合せを行っております。同月27日には遠田郡医師会と従事者研修会に関するスケジュールについて調整しております。</p> <p>年が明けまして1月14日、研修会に関する事務的な打合せと来年度以降の組織体制について打合せを行いました。</p> <p>今後の取組の方向性について事務局案ではございますがまずは遠田郡医師会とは事業や研修会などの企画等について協議し、また行政の取組について積極的に報告していくなど、引き続き情報共有しながら理解を得られるように取り組んでいきたいと考えております。</p>
渡辺課長	<p>続きまして(2)両町の推進会議および推進協議会の共同運営について私から御説明申し上げます。</p> <p>これまで美里町における在宅医療介護連携推進会議、それから涌谷町における在宅医療介護連携推進協議会、この2つの組織体制の統一につきまして、これまでこの推進会議の場で協議いただいていたところでございます。</p> <p>様々な御意見を会議の場で頂戴してきたところでございますが、組織の統一につきまして前向きに考え検討していくことを基本に、具体的な時期等について引き続き検討協議していくということで皆様方</p>

	<p>に御確認いただいたところです。</p> <p>ただ今事務局から説明した調整経緯に記載しておりますが、昨年 の11月5日、1月14日に涌谷町の事務局と組織体制の具体的な統一 時期等について事務局レベルの打ち合わせを実施しております。両町 での事務局レベルでの考え方を申し上げますと1つは両町の各委員 の任期が同じでございます、例えば統一の時期を令和2年の4月と か令和3年の4月とか年度の初めに時期を持ってきてはどうかと具 体的に検討してきたところです。</p> <p>涌谷町におきますこれまでの状況についてお話申し上げますと、涌 谷町の推進協議会の考え方、これは現状のとおり両町において組織体 制を維持しながら推進すべきとの考え方が強くあるという情報を得 まして、両町の考え方が相違をしている状況に現在ありますことを確 認しております。したがって、来月3月5日になりますが、涌谷 町におきまして推進協議会が開催されまして組織体制について御協 議される予定となっております。美里町といたしましては、その協議 いただいた結果を踏まえまして、次回の推進会議の際に両町の組織体 制を統一することを基本に更に一步進めた内容で委員の皆様方にお 示しさせていただいて、そのことを踏まえて御議論、御検討いただ くよう準備をさせていただきます、より具体的な方向性をお示しいた だけますように今後進めていきたいと考えております。</p> <p>私からは以上です。</p>
横山委員長	今、涌谷町との連携に関しての説明がありましたが、何か不明な点 や質問等ございますか。
玉手委員	委員の人数はどれくらいになる考えですか。
相原課長補佐	<p>現在のところはまだ何も決まっておられません。</p> <p>3月5日に涌谷町で協議会が開催される中で来年度以降の協議会 の在り方を検討するということでしたので、その結果を見ながら美里 町としてどのようにしていくかを考えていきたいと思っております ので委員の人数については今のところ決まっておられません。</p> <p>美里町としては現在の人数くらいは必要かと思うのですが、統 一するか単独でやるかによっても変わってくるかと思っております、結 果を見ながら検討させていただきたいと思っております。</p>
横山委員長	涌谷町と美里町が一本化して遠田郡の組織として活動する場合も あるということですね。
相原課長補佐	事務局としてはそのような方向性であればいいなと思っております ですが、先ほど課長から御説明したとおり、涌谷町の協議会のほうでそ

	<p>それぞれの組織で事業を進めてもいいじゃないかとの御意見もあるということです。今のところ一緒になるということだけではなく色々な方向性を模索したいと考えております。</p>
<p>横山委員長</p>	<p>3月5日の会議次第ということですね。</p> <p>他になければ(3)マップの作成について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>相原課長補佐</p>	<p>それでは御説明いたします。</p> <p>美里町の医療連携のための医療・介護・福祉の便利マップというものを以前に作成させていただいたのですが、情報が変わっているかと思いますので令和3年度に新しいものを作成したいと考えております。</p> <p>前は美里町だけのものを作成したのですが、前にこちらの会議の中でも今度は遠田郡として作成したらよいのではないかという御意見をいただいておりますので、どのようなものを作成していくべきか御意見をいただきたいと思いますと考えておりました。</p> <p>こちらのマップを見ていただきたいのですが、厚手のものが事業所等の従事者向けの便利マップです。連絡先など詳細の情報を記載しておりました。もう1つが住民向けに作成したもので従事者向けよりは内容は絞って作成したところです。</p> <p>今度、遠田郡として作成していくとなると、この情報量より多くなるというところを前提に考えていかなければならないかと思っております。私がただいま手元でお見せしている涌谷町のマップでは後半部にマップ、前半部ではサービスの内容等が記載されておまして、こちらは出版社でベースになるものがありまして、こちらでオーダーできる部分に手を加えて作成しているというつくりになっております。</p> <p>令和3年度に遠田郡分として作成する際にどのような形がよろしいかというところの御意見を聞かせていただきながら、来年度に作成していきたいと考えていたところです。</p> <p>事務局としましては情報量が多くなるということで、従来の作成手法で作成していくのは難しいのかなと考えておりました。</p> <p>中身としては住民向けのマップと涌谷町のマップが同じくらいの情報量になっているかと思っておりますので市販のものを活用するかオリジナルで作るかということになるかと思っておりますが、事業所向け、住民向けと各々のものを作成しなくともよいのかなと考えておりました。</p> <p>委員皆様方から御意見をいただければと思います。よろしく願い</p>

	します。
横山委員	基本的に予算はどちらがかかるのですか。
相原課長補佐	すみません。見積もりをとっているわけではないのでそこまでは不明です。これまでのものはデータを町で作成して印刷だけお願いしているのですが部数が少なければ安くあがります。住民と事業者向け両方印刷するとなると部数が多くなりますので、高くなるかどうかは部数次第となるかと思えます。
大蔵委員	涌谷と比べて美里のマップは見劣りするかなと感じます。
相原課長補佐	そうですね。涌谷町のマップは出版社で作成したものですので、確かに差は出てしまいます。
大蔵委員	涌谷町は何部刷ったのですか。
佐々木班長 (涌谷町)	<p>1,000部作成しまして、窓口にご相談に来られた方や研修会の機会に住民の方を対象に配布しております。他に病院や各事業所にも置かせていただいております。</p> <p>全て業者に一括してお願いできるものですので事務局として行うことは事業所の住所や電話番号の調整となります。それからマップの作成にあたって色々なマップの作り方がありますので業者と校正を重ねていく必要があります。</p> <p>見栄えもかなり綺麗なものに仕上がるので説明等で使用する際には非常にわかりやすいパンフレットになっているのかなと思っております。</p>
大蔵委員	後はそれがどれだけ役に立っているのかなということは、なかなか知りえないです。作成して配布して満足みたいな一面もあるかと思えます。他に例えば広報などの付録みたいにして配布するみたいなことはできないのですか。
佐々木班長 (涌谷町)	涌谷では行っておりません。
相原課長補佐	美里町では全世帯に配布しております。広報紙の配布時に行政区長さん方をお願いして広報紙と一緒に配布していただいております。
大蔵委員	町内の各家庭に伺っても、それを見かけないです。
相原課長補佐	一部の方からは絶賛はされてはおります。ただし、このようなパンフレットが配布されたのだけ？という方も実際はいらっしゃいます。
伊藤課長補佐	このマップを作製した際に自分たちで作成したマップだったこともありデータをPDFに変換して町のホームページにもデータベース的に利用できるように配布と同時にアップしております。

	<p>通常、各種ページをアップした際にアクセス解析を行うと、イベントの告知などは開催時期が過ぎるとアクセスは急激に減る傾向が強いですが、こちらのデータベースは例えば病院名などをインターネットで検索すると上位に挙がってきます。1ページ各々のアクセス数は40件程度と少なくとも、各ページ共に毎月アクセス数が減ることなく推移し、トータルの訪問件数は多いまま長期間経過しております。</p>
佐々木委員	<p>全戸に配布されているという事ですけど、見る方と全く見ない方がいて関心の無い方は配布されたことすら知らない状態ですので全戸に配布したとしても活用されているかという疑問に思います。</p> <p>逆に涌谷町のように事業所の事などを説明する際に活用したほうがパンフレットとしてはいいのかなと感じております。説明を受ける側もパンフレットがあれば非常にわかりやすいです。わからないことがあればパンフレットに記載された電話番号で問い合わせることもできます。あとはホームページで検索できる環境を継続するなど、いいとこ取りで作成を進めていった方がよろしいかと思えます。</p>
玉手委員	<p>全戸に配布した上で各事業所にも配布するのは大変でないですか。</p>
相原課長補佐	<p>まだ全世帯に配布したほうがよいか、佐々木委員さんからもお話がありましたが必要な所で活用するのか、これから考えていきたいと思うのですが、どうしても発行に関しての評価ができないといえますか、それくらい活用されているかという判明しにくいところですので併せてどのように進めていくか検討させていただきたいと思えます。</p> <p>マップについては大蔵委員からも御指摘がございましたが涌谷町が作成したような形で考えてみたいと思えます。</p>
横山委員長	<p>マップについてはよろしいですかね。</p> <p>では次に報告に入ります。事務局お願いします。</p>
伊藤課長補佐	<p>それでは報告に入ります。(1)大崎市の在宅医療・介護連携推進事業の取組について事務局より御報告いたします。</p>
相原課長補佐	<p>それでは報告させていただきます。資料3をご覧くださいと思います。こちらは11月29日に大崎市で開催されました大崎市地域包括ケア推進懇談会の資料となっております。</p> <p>この懇談会に長寿支援課から伊藤と相原で出席しましてどのような運営をされているかということを確認させていただきました。</p> <p>内容としては資料に目を通していただければと思うのですが、様々な部署から出席しまして取組の報告があったり、皆さんで情報共有と交換をしていたという状況にあります。</p> <p>とてもよいなと思ったのが、講演という形で出席者全員で勉強する</p>

	<p>といたしますか最新の情報を皆で共有するというような場面がございました。</p> <p>こちらの懇談会に出席しまして事務局で考えたところなのですが、今まで医療介護連携において、こちらの会議ですとか様々な事業を行ってききましたが、美里町におきまして医療連携を行う担当課しかこの会議に出席していないということで、今後につきましては私たち行政においても様々な部署において連携というか、これまでしてるつもりではいたのですが、更に積極的に連携していかななくてはならないと、必要性を感じているところです。</p> <p>もう1つは研修です。この会議の中で議論することはもちろんですが研修をすることで委員皆さんで同じ考え、方向性、知識などを身につけながら事業を運営できたところを考えると行かなければならないということを感じたところです。</p> <p>報告については以上になります。何か御意見等ございましたらお願いいたします。</p>
横山委員長	何人くらい参加したのですか。
相原課長補佐	<p>相当な人数が参加しておりました。事務局あわせて56人でした。事務局が14人ですので他の参加者は42人です。医師会、歯科医師会、薬剤師会、理学療法士や作業療法士、栄養士会、ケアマネジャー協会、行政も包括支援を担当している部署だけではなく高齢介護課であったり、後期高齢などの保険担当課なども出席しておりました。</p> <p>同じやり方でなくともよいなと思うのですが、このような視点の持ち方も大事なのだなと感じてきました。</p>
横山委員長	<p>他に御意見ございますか。</p> <p>無いようでしたら次の美里町の介護予防事業についてをお願いします。</p>
相原課長補佐	<p>では次の美里町の介護予防事業について、資料4を御覧いただきたいと思います。</p> <p>こちら医療連携の会議ではあるのですが、介護予防についての御意見もいただきたいということで、今回報告させていただきます。</p> <p>1.美里町の高齢者の現状ということで、別添の7ページを御覧いただきたいと思います。こちらの資料については7月24日に住民向けに実施した在宅医療の研修会の席で使用した統計資料になっております。このページは平成30年の近隣市町村の介護度別の人数ということでまとめたものです。見ていただけるとわかるかと思いますが、美里町につきましては他の町村と比べますと要支援1、要支援2</p>

の認定を受けている方が割合として多い町となっております。もちろん各自治体の認定の手法の傾向はあるにしても、かなりの割合となっております。

こちらについて考えられるのは認定を受けていない方でも要支援レベルの方が多くいる町なのではないかということが想定され、やはりその要支援や要支援相当の方への介護予防を行っていくことが、健康寿命の延伸という点では大切であるという考えで事業に取り組んでおります。

2.令和元年度の美里町の介護予防事業につきまして記載しております。主として4つの事業を行っております。1つは介護予防事業で、こちらは運動教室であります。みさと元気塾という名称を付けまして、美里町社会福祉協議会に委託して実施しております。町内2か所で行っております。定員40人の年間20回実施しております。

もう1つは地域リハビリテーション相談事業です。こちらはデイサービスの利用者に対しての事例検討を行ってデイサービスがより良い運営ができるようにすることを目的に行っております。ですので対象者はデイサービスの事業所となっております。事業所の関係者を参集して研修会を1度行ったほか、事業所に出向きまして事例検討を行っております。こちらには本日出席いただいております北部保健福祉事務所の武田氏、委員であります尾形氏にも協力いただきまして、事業において助言等行ってもらっております。

もう1つが介護予防のための地域ケア個別会議です。こちらも同じような目的なのですが要支援から要介護1くらいまでの方を対象として、事例検討を多職種で行ってケアプランだけではなく、うちの町にどのような資源があったらよいか、どのような部分が課題となっているのかを含めて多職種で検討するという内容で実施しております。対象者は町内の居宅介護事業所としており、事業所へ多職種で出向きまして事例検討を行っております。今年度は3事業所に対して実施しました。

最後に地区介護予防事業ということで、こちらは今年度は口腔機能向上に関する健康教育を実施しております。対象者としては今年度は食生活改善推進委員会の方と委員の佐々木氏で運営を行ってもらっております。NPO法人みさとスマイルケアネットワークの会合に参加しまして健康教育を行ってきました。

これらの事業を実施する中で、大きく課題として考えたところが何点かございます。1つはみさと元気塾、対象者が高齢者ということもありまして開催会場の周辺の方が多く参加しております。全町域の

方が参加している状況ではないと感じております。

もう1つは町が企画した事業については多くの方が参加いただいているのですが、それ以外の身近な場所で気軽に参加できるような介護予防の場がないと感じております。

もう1つは介護サービスの利用者が自立した生活ができるようになるために、やはり多職種の連携が必要であることを感じております。事業所で考えたり悩んだりしていることがあったとしても、事業所だけで解決することはなかなか難しいという御意見がありまして、様々な職種で解決を図っていくことができたらいいなというところを感じております。

それに向けて来年度に取り組んでいきたいと考えているのが資料の4つの項目になります。

1つは住民が事業に参加しやすい体制づくりということで元気塾の会場を3箇所調整し、町内で満遍なく通えるように会場を増やしていきます。あとは町内の関係者間で介護予防の在り方ということを検討できる場があれば思っておりました。2月にも行うのですが、尚のこと次年度も引き続き行っていければと思います。町が企画する介護予防事業について、どうしても同じ会場で開催しがちとなるのですが、町内のいろいろな場所での開催を検討しながら、多くの方は参加できるようにというところを考えていかなければならないと思っておりました。

2つめに高齢者の集いの場づくりです。住民の方が自主的に取り組みやすい介護予防を次年度に取り組んでいきたいと考えております。

3つめに介護支援専門員や介護サービス事業所の従事者への支援ということで、今年度を実施しましたリハビリテーション相談事業、地域ケア個別会議を継続して行っていきたいと考えております。あとは多職種が参加する研修会について、こちらも今年度を実施しておりますが継続していきたいと考えております。

4つめに地域住民の方への啓発ということで地域に出向いての介護予防事業の企画について考えていきます。もう1つが先ほど大崎市での会議の報告をいたしました、介護保険の事業だけでなく国民健康保険であるとか健康づくりの部門と一体的に進めていくということで関係課との連携をしながら課題について一緒に考えたり実施に向けて具体的に協議を進めていきたいと考えておりました。

今年度の各事業の多くに尾形委員に御協力いただけてきたところですので、事業に携わったことについての感想や御意見等あればお願

	いします。
尾形委員	<p>私が参加させていただいたのが地域リハビリテーション相談事業と介護予防のための地域ケア個別会議だったのですが、地域リハビリテーション相談事業というのは、先ほど事務局から説明があったようにデイサービスの相談員や看護師、介護員に対しての事業なのですが、受けたケースが認知症で集団生活を送るのが大変、他には難病の方で転倒が増えてきて中途半端に動けることから大変問ういうところで具体的にリハビリで手を動かしてとかトイレに行けない状況を改善してとかといった相談ではありませんでした。結果的に感じたのがその場にケアマネジャーと医師等はいなかったのですが難病の方に関しては専門医にかかっていない、認知症の方に関しては暫く前に病院に行って、そこから認知機能が悪化しているのに充分に受診できていないという状態でした。</p> <p>専門職との連携が充分でないと感じたのですが、介護職員や相談員はケアマネジャーへの連絡をしているということで説明があったのですが、ケアマネジャーから病院の先生に正確な情報が伝わっていないのか、それとも情報を伝えてもそこからの返信が無いのかははっきりとはわからなくて、結果的に現場で利用者を預かる身である介護職員がどのように対応したらよいのかわからないという状態でした。これが自宅であれば転んで骨折しても仕方のないことなのですが、事業所ですと重大事故に繋がってしまうと事業所そのものの運営などにも影響を及ぼすため、連携が取れていないとか専門職とのつながりをどのように今後作っていくのかということ、今後また事業に参加させていただいた際にはもう少し詳しく掘り下げていければと思います。</p> <p>今回はケアマネジャーもいなかったこともあり、連絡や連携の関係性の把握ができなかったのですが、それがこの地域リハビリテーション相談事業の課題かなと、専門医との連携とか、専門職との連携というところが課題かと感じました。</p> <p>介護予防のための地域ケア個別会議は、ケアマネジャーからの悩みに対しての事業です。要支援の対象者が多かったのですが、結果的には要支援の方のデイサービスの受け入れが減っているので、その方が楽しみを持って生活をするという地域資源がなかなか無くて困っているという相談が多かったです。地域で行っている踊りや、集会所で行っている運動などはあるのですが送迎が無いので、恐らく交流の場に行くことができないのかなと思います。屋内でのADLはある程度は保たれているのですが、屋外のADLが不足し、できなくなっ</p>

	<p>ている状態に対して、手っ取り早く交流の場に参加できるのがサービスであり、送迎が付いているということは利用者にとって大事な点であると思うのですが、この辺の地域ですとどうしても地域資源が減っていて、現状で増えていないので解決できるかということとはわかりませんが、地域資源の不足が要支援の方にとってどのように解決していったらよいのかというのが課題かと感じました。</p> <p>以上です。</p>
相原課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>永澤委員も介護予防のための地域ケア個別会議で事例を提供いただいて検討してもらった経緯があるのですが、検討してもらってケアマネジャーとしてどうだったかという点での感想を教えてくださいましたらと思います。</p>
永澤委員	<p>事例の方が男性で独居の要支援の方だったのですが、一人暮らしになってからあまり外出しなくなった方ではありました。</p> <p>この事業に参加する際にもご本人にも事例として出ささせていただきたい旨を話したのですが、すごく喜んでいただいて自分が社会の主役から外れてきて楽しみがないというところで、自分にスポットが当たることで喜んでいただき、すごく良い表情をされたのです。なのでそこが私としては一番嬉しかったし、あとは同一のサービスの利用が長かったのでヘルパーとの関係も普段どおり毎回同じといった感じだったので、そこにも水が入ったというか生き生きしてきたと話しておりました。</p> <p>実際に御提案いただいた地域内で毎朝行われている活動への参加ですが、一度見学に行きはしたのですが、一緒にいてくれる人がいてくれるといいのだがと言っているうちに寒くなってしまいましたので、参加までは至ってはいないのですが近所から声がけもあったようで、私たちが働きかけるだけではなく自分たちであんな事をやってみたら等の機会が増えたのが良かったと感じました。</p> <p>以上です。</p>
相原課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>どうしても介護予防となると手を動かすとか足を動かすとかといったイメージが強くありますが、高齢者の方については出かける場所だったり、楽しみだったりといったところが強く介護予防につながっていくのかなといったところを今年度の事業で強く感じるが多かったので、できれば来年度は地域であそこに行ってみたいと思えるような、高齢者の方が2～3人集まって何かできるような手段という</p>

	<p>あたりを行政としても一緒になって考えたり、関係する皆さんで課題を検討しながら進めていければと思っていたところです。</p> <p>御意見等あれば聞かせていただくと助かります。</p>
伊藤委員	<p>あまり大勢で何かするよりは小ぢんまりしたところの方が、取っ掛けりとしては参加しやすいのかなといった印象があります。人によって知っている人たちで集まりたい、知らない人で集まりたいなど色々あるかとは思いますが、まずは小規模でやってみたらと思います。</p>
木村委員	<p>私自身、よく施設に訪問するのですが、ずいぶん楽しそうにやっているという印象はありました。</p> <p>個人宅にも伺うのですが、やはり足が悪いなどの理由でご夫婦で外に出れないという状況の方もいるので、予防とはまた別の話になってしまいますが、場所にもよりますが色々な仕組みを検討していただきたいと思います。</p>
相原課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>今回御説明したことは、今年度で終了というよりは来年度に経過を見て皆さんに御報告し、御意見等もいただきながら進めていきたいと考えておりましたので、よろしく願いいたします。</p>
	<p>次年度の開催スケジュールの予定等の説明後、会議を終了した。</p>
	<p style="text-align: right;">終了 午後7時40分</p>

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和2年 月 日

委員 _____

委員 _____